学校番号	３０１

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説「日本史Ｂ」改訂版（山川出版社）						
副教材等	歴史資料館 日本史のライブラリー（東京法令出版）、改訂版 詳録 新日本史史料集成（第一学習社）、日本史総合テスト日本史Ｂ(山川出版社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史は暗記科目ではありません。先人の営みを知り、その遺産を継承し自らの教養としてください。そのためには歴史の大きな流れを掴み、その上で各時代の細かな事項を理解する姿勢が重要です。授業に集中し、自ら考えながら取り組みましょう。歴史を楽しみながら学んでください。
・基本的なことをしっかり理解するために教科書を中心とした学習をしてください。その際、年表・地図・写真・史料を活用しましょう。

2　学習の到達目標

・日本史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察します。
・日本の伝統と文化の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養っていきます。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・歴史的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する市民としての責任を果たそうとする。	・歴史的事象から課題を見いだし、日本及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・歴史的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	・日本及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・ワークシート ・観察等	・定期考査 ・ワークシート ・観察等	・定期考査 ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
一学期	原始・古代の日本と東アジア	日本文化のあけぼの 律令国家の形成 貴族政治と国風文化	○ ○	○ ○ 	○ ○	 ○ ○	a:歴史への関心を高めようとしている。 b:主題について考察した結果を適切に表現している。 c:諸資料を効果的に活用している。 d:原始社会及び古代国家の社会や文化について理解している。	定期考査 ワークシート 観察等

	中世の日本と東アジア	中世社会の成立 武家社会の成長	 ○	○ 	○ 	 ○	a: 歴史への関心を高めようとしている。 b: 主題について考察した結果を適切に表現している。 c: 諸資料を効果的に活用している。 d:中世国家と社会や文化の特色について理解している。	定期考査 ワークシート 観察等
二学期	近世の日本と世界	幕藩体制の確立 幕藩体制の展開 幕藩体制の動揺	○ ○	○ ○ 	○ ○	 ○ ○	a: 歴史への関心を高めようとしている。 b: 主題について考察した結果を適切に表現している。 c: 諸資料を効果的に活用している。 d:近世国家と社会や文化の特色について理解している。	定期考査 ワークシート 観察等
	近代日本の形成と世界	近代国家の成立	○	○	○	○	a: 歴史への関心を高めようとしている。 b: 主題について考察した結果を適切に表現している。 c: 諸資料を効果的に活用している。 d:近代国家の形成と社会や文化の特色について理解している。	定期考査 ワークシート 観察等
三学期	両世界大戦期の日本と世界 現代の日本と世界	二つの世界大戦とアジア 占領下の日本 高度成長の時代 激動する世界と日本	 ○	○ ○ 	 ○ ○ 	○ 	a: 歴史への関心を高めようとしている。 b: 主題について考察した結果を適切に表現している。 c: 諸資料を効果的に活用している。 d:近現代国家の展開と社会や文化の特色について理解している。	ワークシート 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。